

# 植物ゲノム・遺伝子源解析センター

## 月例セミナー

とき 平成21年11月20日（金）

16時～17時

ところ 農学部 BW106 講義室(大講義室)

### 題目

「高等植物の環境ストレス情報伝達における  
MAPキナーゼ経路の解析」

### 講師

農学部准教授 市村 和也 博士

### 概略

植物は環境ストレスを認識し、適切な反応を行うことにより、生命活動を維持している。環境ストレスは、虫害や病原菌感染などの生物的ストレスと、塩や低温などの非生物的ストレスに大別される。近年、これら環境ストレスの情報伝達における、MAPキナーゼ経路の役割が明らかにされつつある。MAPキナーゼ経路は、3種類のプロテインキナーゼがリン酸化を介して連鎖的に活性化することで、様々な受容体からの情報を、核や細胞質へ伝達するモジュールである。本セミナーでは、演者がこれまで携わってきた、環境ストレス情報伝達におけるシロイヌナズナMAPキナーゼ経路の解析を中心に概説する。

### 参考文献

Takahashi, F., Ichimura, K., Shinozaki, K., Shirasu, K. Plant Mitogen-Activated Protein Kinase Cascades in Signaling Crosstalk. Chapter 2, pp23-42, In *Signal Crosstalk in Plant Stress Responses*. (Yoshioka, K. Shinozaki, K. eds). Wiley-Blackwell publishing. 2009.

主催：香川大学農学部 植物ゲノム・遺伝子源解析センター

(<http://www.ag.kagawa-u.ac.jp/phytogene/index.html>)